

# 舗装維持管理を支援

## 傷み測定費は20分の1

大日本コンサルタントは、路面の傷み具合を安価に測定してデータベースを構築することにより、舗装の維持管理を総合的に支援する道路舗装のアセットマネジメント（資産管理）を、本格的に事業展開する。測定結果は、乗り心地に近い状態を表し、測定費用も現行の方式と比べて10分の1から20分の1で済むというメリットがある。

路面性状の測定は現シオン社製の装置を使って測定できる。またMCⅠという方法が一般的に使われている。MCⅠは、特殊な専用車が必要のため、測定費用は1キ、当たり5万〜6万円かかる。費用低減のため、同社は、ニュージーランドのデータ・コレクトロール車などに搭載し、

世界銀行が開発したIはひび割れ、わだち掘れ、平坦性を測定するIRI（国際フラネス指標）に基づき測定する。IRIは上下動を対象としているため、より乗り心地に近い状態を数値で定量的に示すことができる。

道路管理者が舗装の維持管理や改良、更新などの意思決定を合理的、効率的に行うように支援するもので、海外でも多くの使用実績がある。同社は、2005年度に国土交通省から1件受注した。06年度は、都道府県を中心に営業活動に力を入れる方針だ。

